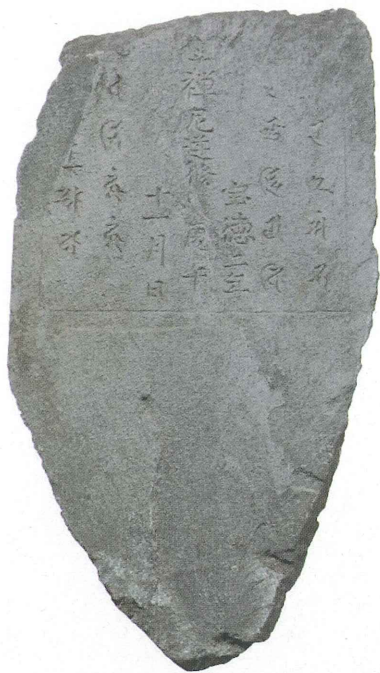


阿佐谷南三丁目共同墓地・朝倉周一家旧蔵板碑



〔登録年月日〕平成二年三月三十一日

〔種別〕有形文化財（古文書）

〔名称〕阿佐谷南三丁目共同墓地・朝倉周一家旧蔵板碑

〔点数〕一基

〔所有者等〕世尊院

〔所在地等〕阿佐谷北一―二六―二

阿佐谷南三丁目共同墓地・朝倉周一家旧蔵板碑

長さ四七cm、幅二五・五cmで、上半部が欠損している。造立は宝徳二年（一四五〇）である。

本板碑は逆修板碑で法名・逆修・干支を中央に刻み、その左右に年号・月日を、そしてその外側左右に随求真言を各二行ずつに配列するという特徴ある配字を示している。製作もこの当時のものとしては丁寧で、端正な印象を与える板碑である。

随求真言を刻んだ板碑は、区内では医王寺所蔵のものとは本板碑の二例が知られるのみである。

医王寺の板碑は三尊種子で、主尊を光明真言のダ字を含めた二四文字でかこんでいると言う。

本板碑は上半部が欠いているので断定はできないが、おそらく医王寺のものと同じ様式の三尊種子を刻していたものであるうと思われる。

また、本板碑と全く同一様式のものが隣接する世田谷区成城の本橋家に所蔵されており、一連の製作者の存在を考えさせる。

この板碑は区内では数少ない随求真言を刻んだもので、当時の信仰生活の一端を今に伝える資料である。

【文化財所在地】

